梅雨・夏のことわざ穴埋め　その1

問題

お名前

正しいと思うものの番号に〇をつけましょう。

① 「雨降って地（　）まる」の（　）に入る字はどれでしょう？

① 温　② 固　③ 静

② 晴れているのに雨がぱらつく「天気雨」を、昔から何と呼ぶでしょう？

① 狐の嫁入り　② 狸の宴会　③ 猿の行列

③ 「雨垂れ石を（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

① 砕く　② 磨く　③ 穿つ

④ 松尾芭蕉の句「五月雨を（　）めて早し最上川」の（　）に入る字はどれでしょう？

① 溜　② 止　③ 集

⑤ 「（　）が吹けば桶屋が儲かる」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

① 雨　② 風　③ 雪

梅雨・夏のことわざ穴埋め　その1

答え

お名前

答えと、ひとこと解説です。

① 「雨降って地（　）まる」の（　）に入る字はどれでしょう？

答え　② 固

もめごとのあとは、かえって前よりよい関係になるというたとえです。

② 晴れているのに雨がぱらつく「天気雨」を、昔から何と呼ぶでしょう？

答え　① 狐の嫁入り

狐に化かされたような不思議な天気だとして、こう呼ばれてきました。

③ 「雨垂れ石を（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

答え　③ 穿つ

小さな雨だれも続けば石に穴をあける。こつこつ続ければ成しとげられます。

④ 松尾芭蕉の句「五月雨を（　）めて早し最上川」の（　）に入る字はどれでしょう？

答え　③ 集

『おくのほそ道』の句です。五月雨とは、今の梅雨の雨のことです。

⑤ 「（　）が吹けば桶屋が儲かる」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

答え　② 風

思いがけないところに影響が及ぶこと、またあてにならない理屈のたとえです。

梅雨・夏のことわざ穴埋め　その2

問題

お名前

正しいと思うものの番号に〇をつけましょう。

⑥ 「青天の（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

① 霹靂　② 稲妻　③ 夕立

⑦ 「水清ければ（　）棲まず」の（　）に入る字はどれでしょう？

① 魚　② 蛙　③ 鳥

⑧ 「流れる水は（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

① 濁らず　② 止まらず　③ 腐らず

⑨ 「暑さ（　）も彼岸まで」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

① 涼しさ　② 寒さ　③ 長雨

⑩ 「光陰（　）の如し」の（　）に入る字はどれでしょう？

① 水　② 風　③ 矢

梅雨・夏のことわざ穴埋め　その2

答え

お名前

答えと、ひとこと解説です。

⑥ 「青天の（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

答え　① 霹靂

晴れた空に急に起こる雷のことで、突然の大事件のたとえに使います。

⑦ 「水清ければ（　）棲まず」の（　）に入る字はどれでしょう？

答え　① 魚

あまりに清らかすぎると、かえって人が寄りつかないというたとえです。

⑧ 「流れる水は（　）」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

答え　③ 腐らず

いつも動いているものは悪くならない。体や頭も使い続けることが大切です。

⑨ 「暑さ（　）も彼岸まで」の（　）に入る言葉はどれでしょう？

答え　② 寒さ

夏の暑さは秋の彼岸、冬の寒さは春の彼岸ごろにはやわらぐという意味です。

⑩ 「光陰（　）の如し」の（　）に入る字はどれでしょう？

答え　③ 矢

月日がたつのは、飛んでいく矢のようにとても早いというたとえです。